

日々あらた

No.15

2020年1月1日発行

編集：広報委員会

明けまして おめでとう ございます

本年もよろしくお願ひします

「K Y T」って 知ってますか？

安全委員会副委員長 塚田 周一

「K Y T」って 知ってますか？答えは「危険予知トレーニング」のことでした。実を言いますと自分もこの事について、何の知識もなく安全のための研修会に参加して教わった事なんです。

当シルバーセンターで、活動中の皆さんの中で運転に関する事、草刈り、植木剪定、工場の中、等々常に危険と隣合わせの作業はたくさんあると思いますが、先ずは本日の仕事が出来ると体調であるか？これが基本だと思います。

どんな作業にも、この作業にはどんな危険が潜んでいるか？特に◎◎◎◎と□□□□がポイントである、さてこのポイントを、自分であつたらどの様に安全策を立てるか？その為は何をするのか？何を言うのか？ 解決・改善点の具体的目標を立ててそれを確実に実行する。これが完成された時に今日は無事故で良かったね・・・となると思います。

事故の大小にかかわらず、けがをすれば本人 さすれば相手の方 互いに痛みもあり、心の痛みも当然あります。大変な迷惑にもなるし、お金もかかります。予知出来ない事故もあるでしょうが、事故の95%は防げる事故だそうです。

2018年の県内での事故例だと、事故による入院6カ月以上は2件、1ヶ月以上は8件と聞きました。

転ばぬ先の杖、急がば回れ、強いては事をし損ずる、とにかく危険ゼロ 事故ゼロ 気を付けながら仕事しましょう。



植木剪定の七ヶ月

仁礼B班 佐野 利文

以前より定年退職後は、今迄に経験した技術や技能が生かせる仕事を考えていたので、3月の説明会で入会を決めました。

4月中旬に、大工仕事が一度だけ有り、その作業後に冬の雪片づけを頼まれたので、センターへ依頼して頂ければ、いつでもやりますと言ったことを覚えています。

5月になり、センターで班長さんとの顔合わせに行き、同じ町の伊東さんだったのでびっくりしました。

間もなく剪定の作業が始まり、手持ちの道具が足りないことが分かり、徐々に買い揃え、安全作業を心掛けました。

夏にはこまめな水分補給に気を配った事、肌着の着替えが3度の日もあった事、そして秋になると、刈り込みや剪定には良い季節になり、能率も上がった気がしました。

11月も半ばを過ぎると、風の寒さが身にしみる様になり、体調に注意して作業した事、それから自分より十歳も年上の班長さんが、頑張っておられる姿に接し、また事故なく安全に終了できたことは、班長さんのお陰

と心より感謝しております。そして何より、よき指導者の背中を見て、令和2年も生きがいを求め、元気に働けることに感謝しながら、就業するつもりですので、今後も宜しくお願い致します。

